

カーボンニュートラルの実現に向けた具体的な取組

2050年カーボンニュートラルを実現するためには、省エネの徹底や再エネの利用促進などの「緩和策」と、熱中症対策を始めとした「適応策」を両輪として、オール福島でさまざまな取組を進める必要があります。

緩和策

日常生活

- 電気・ガス明細のチェック
- 省エネ家電の使用
- エシカル消費
- 地産地消の推進など



交通および自動車使用

- 公共交通機関や自転車の利用
- エコドライブの実施
- 電気自動車などの購入
- 再配達削減など



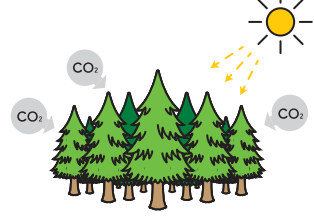
建築物

- 窓や壁の断熱化
- 太陽光発電設備の設置
- 木造化・木質化、県産材利用など



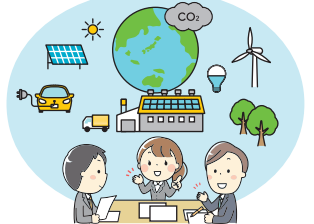
森林整備など

- 森林の整備・保全の推進
- 再造林の推進
- 建築物や敷地の緑化など



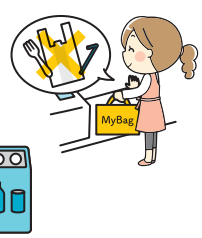
事業活動

- 省エネの推進
- 働き方の転換
- 温室効果ガス排出量の見える化
- カーボン・オフセットの推進など



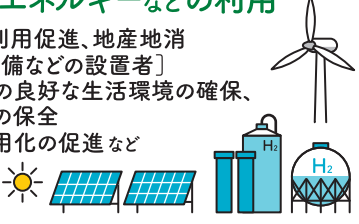
廃棄物

- ごみの発生の抑制
- ごみの分別、資源の再生利用など



再生可能エネルギーなどの利用

- 再エネの利用促進、地産地消
- [再エネ設備などの設置者] 周辺住民の良好な生活環境の確保、自然環境の保全
- 水素の実用化の促進など



適応策

気候変動による影響に備える取組

- 適応策に関する情報の収集、実践 など

適応7分野

① 農林水産業 ② 水環境・水資源 ③ 自然生態系 ④ 自然災害・沿岸域 ⑤ 健康 ⑥ 産業・経済活動 ⑦ 国民生活

- 重点的事項

① 農林水産業

品種改良、栽培技術の開発など食糧供給の確保

④ 自然災害・沿岸域

自然災害による被害の防止・軽減

⑤ 健康

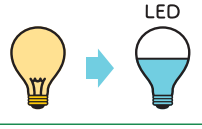
熱中症、感染症など病気の予防

実はこんなに“お得”なんです！

～カーボンニュートラルの実現に向けた暮らしの工夫～

カーボンニュートラルにつながる脱炭素型ライフスタイル。実は「お金の節約」や「快適・便利な生活」にもつながるんです。ひとつひとつ、できることから、はじめてみませんか？

LED照明への切り替え



CO₂削減効果 約30kg/世帯・年

節約額 約2,900円/年

- 蛍光灯と同じ明るさで消費電力が小さい
- 取替の回数は蛍光灯の1/7

省エネ家電への買い替え



CO₂削減効果 約180kg/台・年

節約額 約19,000円/年

- 省エネ性能の高い冷蔵庫・エアコンに買い替えた場合
- 便利機能付きで快適な生活

クールビズ、ウォームビズ

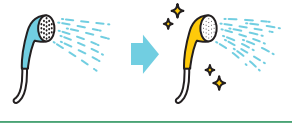


CO₂削減効果 約40kg/世帯・年

節約額 約3,900円/年

- 服装の工夫により冷暖房を適切な室温に設定
- 機能性素材を用いた快適な服装で効率もアップ

節水



CO₂削減効果 約100kg/世帯・年

節約額 約15,600円/年

- 節水型シャワーヘッド、アダプタ、洗濯機、トイレの導入で水道代・ガス代がお得に

公共交通機関・自転車などの活用



CO₂削減効果 約160kg/人・年

節約額 約12,000円/年

- 近距離移動は自動車から徒歩・自転車に切り替え
- 移動手段の見直しで健康増進

エコドライブ



CO₂削減効果 約120kg/台・年

節約額 約9,000円/年

- ふんわりアクセル、加減速の少ない運転を実施
- 速度や車間距離を自動で保つアシスト機能で楽しく快適・安全

ごみの削減、分別・3R



CO₂削減効果 約30kg/世帯・年

節約額 約3,800円/年

- 有料ごみ袋の使用量削減、マイボトル活用で節約
- 資源回収でポイントがもらえる場合も

食品ロス削減

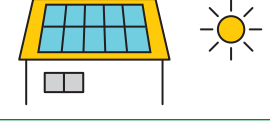


CO₂削減効果 約5.4kg/世帯・年

節約額 約8,900円/年

- 買い過ぎ等の防止により食品ロスを削減
- アプリを介して余った食品をお得に調達、献立の紹介も活用

太陽光発電設備の設置



CO₂削減効果 約920kg/世帯・年

節約額 約53,000円/年

- 初期費用無しの0円ソーラーと余剰電力の売電でお得
- 大規模災害時にも電気が使える

参考：環境省「デコ活ポータルサイト」、環境省「ゼロカーボンアクション30」、気候変動適応情報プラットフォーム



「令和6年度福島県特定原子力施設地域復興交付金事業」を活用しています。

福島県カーボンニュートラル条例 検索

条例の詳細はこちら

先せんせいの画

福島県生活環境部環境共生課 024-521-7813 FAX 024-521-7927 email zero_carbon@pref.fukushima.lg.jp

福島大学の学生の皆さんと一緒に考えました。

動画イラストを作成し、発信するために「今、何を考える必要があるか・何がほしいか」その実現のために「今、何を」た福島県はどんな社会・暮らしになって「2050年カーボンニュートラルを実現し」た。

「2050年カーボンニュートラル」を達成するために、動画イラストを作成し、発信するために「今、何を」た。

「2050年カーボンニュートラル」を達成するために、動画イラストを作成し、発信するために「今、何を」た。

福島大学の学生の皆さんと一緒に考えました！

2050年はこんな未来！

地球温暖化による気候変動の影響は、自然災害の頻発化や災害級の猛暑など、目に見える形で私たちの生活に及んでいます。

地球温暖化を食い止めるためには、まさに今、行動を起こす必要があります。

県では、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、「福島県二〇五〇年カーボンニュートラルの実現に向けた気候変動対策の推進に関する条例」を令和6年（2024年）10月に制定しました。

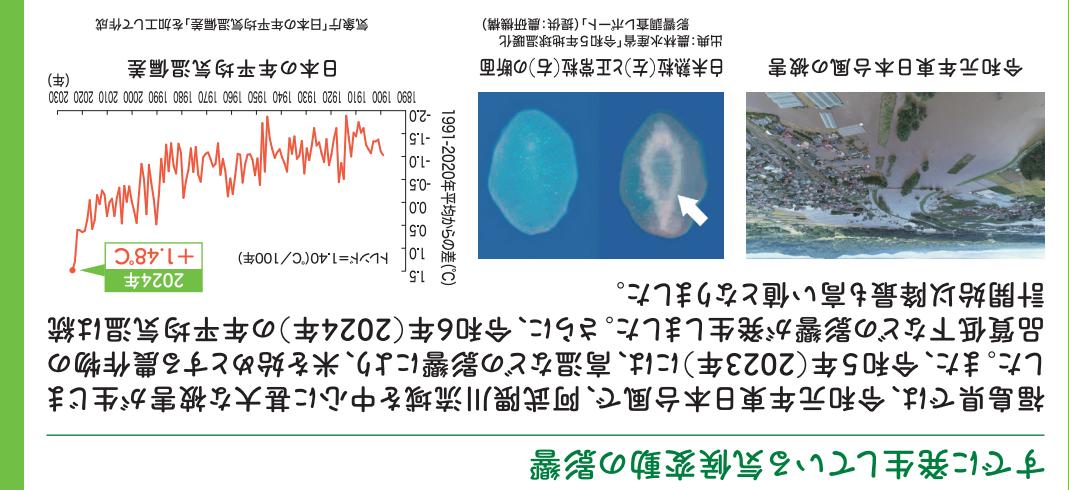
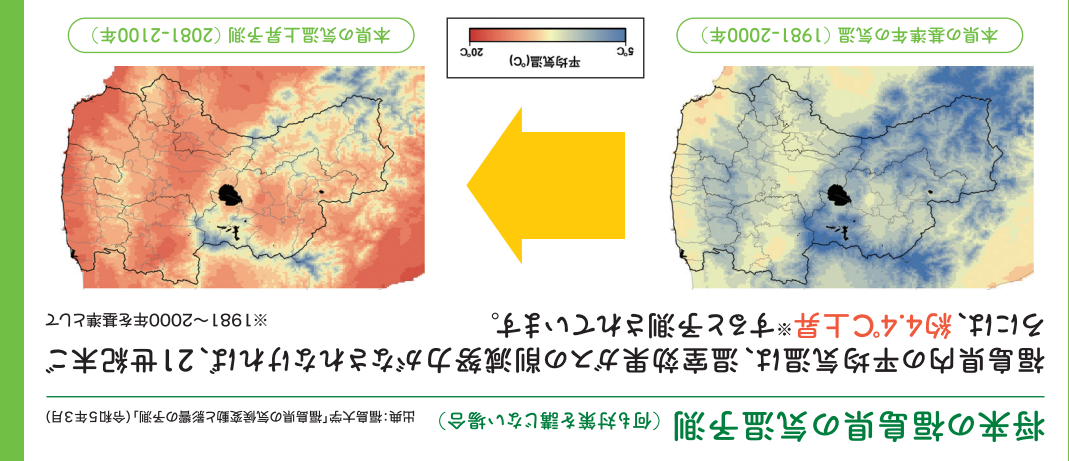
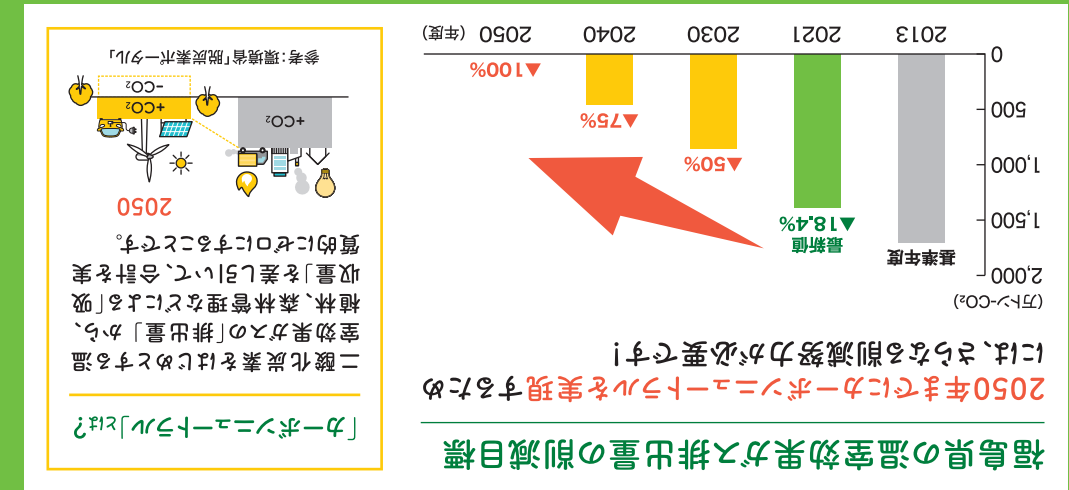
未来の子供たちに、安心して暮らすことのできる環境を継承するため、一人一人が意識して、オール福島で気候変動対策に取り組みましょう！

福島県2050年カーボンニュートラル

ひつ、ひつ、実現する

～一人一人ができることから始めよう！～





若者世代が思い描く「カーボンニュートラルが実現した未来」

私たちの暮らしの中で、省エネの徹底や再エネ・水素の利用、自然災害への備えなどが当たり前になっている2050年の福島県をイメージしたものです。

